

## 増え続ける冷凍冷蔵、量販物流に対応 グループ最大の物流センターが来年稼働 ～センコーグループ浦和大門物流センター上棟式を開催～

センコーグループホールディングス株式会社(本社:東京都江東区、社長:福田 泰久、以下「センコーGHD」)は、11月25日に「センコーグループ浦和大門物流センター」(さいたま市緑区、以下「新センター」)の上棟式を行い、2025年8月の開設を目指しています。



センコーグループ浦和大門物流センター完成予想図

新センターは、センコーGHDの所有物件で、倉庫延床面積は80,000㎡を誇り、グループ最大です。センターの運営は、グループ傘下のセンコー株式会社(本社:大阪市北区、以下「センコー」)と株式会社ランテック(本社:福岡市博多区、以下「ランテック」)が共同で行います。

東北自動車道「浦和IC」に隣接する新センターは、都心まで約30km圏内にあり、首都圏の配送に対応できます。埼玉高速鉄道「浦和美園駅」も徒歩圏内と人口増加が続く新興住宅地にあるため、人材確保にも優位性が期待されます。

既に稼働中の埼玉地区にあるセンコーの物流センターでは、量販やECを中心に首都圏に向けた物量が増え続けており、新センターの開設により、さらなる物量増への対応を強化していきます。また、ランテックが運営する冷凍冷蔵エリアでは、高さ約35mに及ぶ国内最大規模※の自動倉庫を導入し、近年高まるコールドチェーン物流の需要に応えていく考えです。

※ 当社調べ

<センコーグループ浦和大門物流センターの概要>

1. 名称 : ・センコーGHD センコーグループ浦和大門物流センター  
・センコー 浦和美園PDセンター  
・ランテック 新埼玉支店
2. 所在地 : 埼玉県さいたま市緑区大字大門鶴巻 2080 他
3. 建物構造 : RC・S 造 8 階建(倉庫は 5 階層)
4. 敷地面積 : 44,504 m<sup>2</sup>
5. 延床面積 : 81,082 m<sup>2</sup>(うち、センコー38,790 m<sup>2</sup>、ランテック 42,127 m<sup>2</sup>)
6. 設備 : 冷凍冷蔵倉庫、トラックバース 78 台、給油所、洗車場、整備場、太陽光発電、大容量蓄電池、非常用発電設備など
7. 貸主 : センコーグループホールディングス株式会社